

## MCN 支部とダルマスタリ学校訪問 その2

特定非営利活動法人ミランクラブジャパン  
理事長 マナダール マダーブ ナラエン

今年 8 月帰国でダルマスタリ学校に 2 回訪問しました。カトマンズから約 8 km 北に位置する小さなダルマスタリ村にある学校敷地内には校舎、図書室、寄宿舎、MCN が主催する職業訓練所があります。今回は一年ぶりに、これらの施設を見てまわりました。まず一日目は学校の授業に参加し、生徒や先生たちと交流を図りました。



10 年生授業風景



教職員と交流

現在、ダルマスタリ学校には男女各 149 名、計 298 名の生徒が在籍しています。全部のクラスを見てから 10 年生の授業に参加しました。授業の多くで英語が使われているためか、私は英語の挨拶で迎えられました。私はそもそもネパール人なので挨拶は「ナマステ」が望ましい、外国人が訪れたとしても、素晴らしいネパールの挨拶「ナマステ」を使った方が良いのではと話しました。子供たちは日本のことに興味深々で、富士山のことや気候、食事、留学

に関してと、いろいろ質問されました。以前訪問した方々を思い出してか、日本人は優しいですねとか、また日本から先生が来てほしいと話したりもしていました。次回訪問時には子供たちが希望した日本の紹介ビデオとか、ビデオレターとか見せることができたらと思いました。子供たちとの交流では積極性と規律正しさを感じました。質問への回答には多くが“ハイ”と手を挙げ、先生や同伴者が入退室する際は皆、起立して挨拶をしていました。子供たちの夢はドクター、技師、先生が多かったように思います。

先生方との交流では、各人の教育に携わる熱意を感じることができ、嬉しい限りでした。より多くの子供たちが学校へ通えるよう学費が低めに抑えられているのは、先生の給料が他校の半分程度に抑えられているお陰もあります。先生方は教育と学校の未来に希望を持ち、頑張っています。開校当初 2 年間は、運営費として岐阜淡墨ロータリークラブの支援を受けましたが、その後は銀行から借り入れたりして運営を行ってきました。苦しい時期を乗り越え、自立に向け頑張ってきた成果が徐々に出ているようです。学校運営が軌道に乗り、先生方の給料が世間並みになるまで、まだ暫く奉仕してもらいが必要がありそうです。

校長先生は、2 年連続で教え子の生徒たち全員が SLC に合格したことは、私たちの誇りで、これからも教育レベルが保てるよう、指導していきたいと話されていました。そして、さいたまコープ、MCJ の皆様に昨年の来日の機会を頂けた感謝を繰り返していました。もし、またこのような機会があれば、他の先生方にもと希望していました。今、学校では日本の学校視察で見te感心した生徒による教室清掃を取り入れたようです。スポーツ、IT、科学関係の先生方は広いグラウンドや設備の充実を希望していました。 続く...